

令和3年度 さいたま市立川通小学校 学校関係者評価書

さいたま市立川通小学校
学校関係者評価委員長 三次 宣夫

1 学校関係者評価の実施体制

(1) 構成人数 7名

地域代表(自治会連合会長)1名、中学校長1名、防犯ボランティア会議代表1名、民生委員代表1名、元PTA会長2名 現PTA会長1名

(2) 実施回数 3回

2 学校関係者評価(学校関係者評価委員の意見等)

(1) 学校運営について(教育目標・指導体制・経営組織・研修・開かれた学校づくり)

- ・教職員の研修に関する評価は高い数値を維持している。来年度の研究発表会に向け、計画的に取組を進めていくとのことである。
- ・コロナ下において、学校行事の実施方法に工夫を凝らしている。感謝の会等、地域とのかかわりを感じることでできる行事を感染対策を講じながら実施していくとのことである。
- ・「あいさつ」に関する保護者・教職員からの評価が低い。教職員が範を示すとともに、あいさつ運動を次年度も継続するとのことである。
- ・防災訓練等、地域の行事への児童や保護者の参加について、委員より提案があった。参加の可否や方法について、今後検討していくとのことである。

(2) 教科指導等について(学力の向上等)

- ・「家庭学習の手引き」を各家庭に配布したが、活用が十分ではないようである。来年度は、学級懇談会で周知し、活用を促していくとのことである。
- ・児童数の減少に伴い、特別活動を効果的に展開していくため、委員会活動・クラブ活動の再編成を行う必要が生じている。
- ・読書に関して、貸出冊数は昨年度より増加しているが、児童アンケートでは児童の自己評価が下がっている。環境整備や各種取組の更なる充実を図っていくとのことである。
- ・距離走で行っている持久走大会の実施方法を検討する必要がある。次年度からは、学習指導要領に則って、時間走で実施するよう検討しているとのことである。

(3) その他

- ・SCやSSWと児童との交流の必要性が感じられる。休み時間に交流する場を設けたり、相談ポストを設置したりして、取組を充実させるとのことである。
- ・現段階において、長欠(15日以上)1名・いじめ1件の報告があった。いじめについては、早期発見に努め、問題となる前段階で指導しているとのことである。
- ・清掃の取組方法について課題が生じている。清掃の仕方を校内で統一して指導を展開するとのことである。

学校関係者評価を受けた学校の対応

○改善に向けた今後の取り組み

- ・コロナ禍が継続することを踏まえて、健康安全面重視の運営と共に、基本的な学び(基礎学力、読書力(習慣))の向上に向け、次年度も教育活動を進めていきたい。
- ・コロナ対応には先が見通せないところもあるが、十分な感染対策を図り最大限の教育活動を提供していきたい。

さいたま市立川通小学校長 久保田 悌二